

占 春 会 報

第 11 号

発行 八尾市大字千塚102
占春会事務局

大阪府立清友高等学校
TEL (0729) 41局3456



体育大会の入場行進

占春会長 河合 隼子

母校清友も、大阪府立清友高等学校の看板をかかえて二年目を迎えます。

会員の皆様お元気で頑張っています。同窓会報も第11号を発刊する運びとなりました。会員の皆様方や、先生方のご協力を得て、同窓会も漸次着実に基礎を築いて行けます事を心から嬉しく思っております。

世間は物価高騰、経済不安と暗いニュースばかりですが、とにかくも気持ちをしっかりと引きしめて、暮らしにくい世の中を乗り切って行かなければと思っております。

す。

昨年母校へ皆様から贈られた、占春の園の樹々も定着したようです。今は二期工事の為、一部用地はトラックの出入りに使われていますが、今夏までには完成の予定で、在校生達が藤棚の下のベンチで、憩いのひとときを持ってくれる事を願っております。

会報第11号を発刊するに当たり、学校の近況を報告し、会員の皆様方のご多幸を祈り、母校清友のご発展を祈念してご挨拶いたします。

総会ご案内

新入会員 歓迎 総会御案内

5月11日(日) 午後1時

・ 一部 総会

校長挨拶

会長挨拶

55年卒新入会員挨拶

新役員紹介

54年度決算報告

事業報告

・ 二部

新校舍見学

占春の園見学

55 年 度

総会ご案内

校長随想



学校長
小西 康弘

卒業生の皆さんには、お元気で、御活躍のことと思います。

清友高校が、高安の里より、千塚の地に移転して早や一年、この間、男女共学となり、男子生徒を迎え、府立高校としての、新しいスタートを切りましたが、校内では、女子生徒の多い中に混って、男子生徒の威勢のよい声も乱れ飛び、粗野な中にも、活気のある様相を呈している今日です。

今年の卒業式に、私は、人間の尊重ということを話しましたが、昨今の世相をみていますと、平和になれすぎて、人の命の大きさ、尊さについての意識が、一般に薄れているのではないかと思うことがあります。最近でも、起った事件に、車の中から、行きずりの女性に、手製の矢を打ち、殺人事件を起すということがありました。面白半分、いたずら半分というのには、余りにも、非道な、救いようのない事件である。犯人は、二十歳の青年ということですが、人間としての、思慮分別に、全く欠

けているといわざるをえない。又その青年の母親が責任を感じ、自殺を計ったというのも、やりきれない気がする。

最近の若者達の様子を見ていると、特に母親になにかと世話をやかれ、母親がおらなければ、なにも出来ない、自主性のない、又自立性のない青年達が多くいることに気づく。大学の入学試験から会社の就職試験にまで、母親がついていくという状況を見ると、ますますその感を強くする。斎藤茂太さんは「母子関係」という本の中で、「甘やかされて、育った子供は、いったん欲求不満におちいけると、それをどう解消していくかわからない、いままでは、すべて母親が解決してくれていたからだ、苦しみに耐え、憤りを抑えるすべを知らないのである」と書いている。

母親が子供に期待し、全てを打ち込むというのは、むしろ向うの向きのことをしているといえよう。そのような母親に限り子供の為に、自分を犠牲にしているつもりでいるから、子供にあとで過大なお返しを期待するようになる。親は、子供にあまり構う必要はない。母親が教育ママといわれるぐらいに、教育について口出しをしようとするのなら、むしろ家庭内での躰を、きっちり身につけさせるべきである。夏の子供達に

は、日常生活習慣のできていないものが多い。まず家庭に於て、子供自身に、身の回りからきっちりとする習慣をつけさせるべきである。過日、府立高校長協会

で、大阪府の高校生二千二百名にアンケートをとった中で、毎朝、家族の者に起こしてもらわなければ起きない者が、四十七名もあり又朝起きて、毎日顔を洗わない者が八・三%もあるというのは、家庭での躰が充分できていないことでもある。戦後は、平和主義と暴力の否定が強調されるあまり、家庭内での躰も、昔ほどの厳しさがなくなってきたように思う。悪いことをしても、親がはつきり叱らないことが多い、又叱っても口先だけでは効き目のないこともある。幼い時から良い悪いのけじめをはつきりつけさせ、悪いことに對しては、親がどんなに厳しく叱ることが人間を成長させることになる。大人も、自分に対して厳しくなければいけないが、大人が適当にしているから、子供も適当にしているのは、次元の違うことである。子供は、自分で十分に自律できないうので外から助ける必要がある。高校生ぐらいになると、親がいつても、きまきまの「といて、あきらめてる親がい

る。はつきりいって、手遅れだと思ふときがある。もっと小さい時から厳しく叱るべきであったら

う。それでも親が指導できないというのは、どうということなだろうか疑問を感じる。いまの高校生の親の世代は、戦時中、又戦後の食うや、食わずの厳しい生活状態の中で、苦労して過してきたからか、自分の子供には苦労させたくないという意識が強いようである。しかしそのことが、むしろ子供を弱くしていることになって

いる。自立心の強い、又自主性に富む若者に育てる為には、今も昔も同じである。小さい時から苦労さすことが、なによりも薬ということであろう。

卒業生の皆さん方の中にも、子育てに苦労されている方も多いためと思ひます。なにかの参考になればと思ひ、所感の一端を述べました。

史と伝統の上に新しい歴史のページが書き加えられつつあります。一、校舎等の施設、設備について
校舎
第二期の増築工事が三月末に終り、全部の校舎が完成しました。

正門を入った右手に建設中で、プール
クラブハウス
現在百平方メートル一棟ありますが、もう一棟建設予定
その他、運動場の整備、テニスコート、バレーコートの整備、回りのフェンスとバックネットの設置、占春の森の第二期工事が本年中に完成する予定です。

一、職員の変動について
(転退職)
安田圭造先生(教頭) 府立八尾高校へご転勤
和田 淳先生(社会) 府立八尾東高校へご転勤
遠藤光子先生(家庭) 府立芥川高校へご転勤
池上和博主事府立岸和田養護学校へご転勤
原 満重技師府立八尾南高校へご転勤
他に、非常勤講師の大出儀文先生(音楽) 田中きぬ子先生(書道) 谷川恵子先生(美術) 成見順治先生(体育) 野田彰一先生(体育) 平野早英先生(国語) 村田純一先生(英語) が三月三十一日付で



梅の季節も終り、桜花らんまんの春がやって参りました。占春会の皆様にはお変わりございませんか。ますます御発展、御活躍のことと思ひます。府立清友高校も二年目の春を迎え大きく成長しつつあります。清友高校三十九年の歴史

梅の季節も終り、桜花らんまんの春がやって参りました。占春会の皆様にはお変わりございませんか。ますます御発展、御活躍のことと思ひます。府立清友高校も二年目の春を迎え大きく成長しつつあります。清友高校三十九年の歴史

退職になりました。

(着任)

- 前川如矢先生(教頭) 府立八尾 東高校より御着任
- 浜田 勲先生(国語) 府立盾津 高校より御着任
- 倉田 剛先生(国語) 府立西成 高校より御着任
- 森口 進先生(社会) 府立長吉 高校より御着任
- 五十嵐勝彦先生(数学) 府立柏 原東高校より御着任
- 関谷 学先生(理科) 府立牧野 高校より御着任
- 小林孝二先生(保健体育) 府立 農芸高校より御着任
- 窪田利男先生(英語) 大阪府立 東淀工業高校より御着任
- 嶋岩雄三先生(英語) 府立農芸 高校より御着任
- 菊池健夫先生(数学) 府立大学 大学院卒
- 近藤春洋先生(理科) 大阪大学 大学院卒
- 宮脇 裕先生(保健体育) 大阪 教育大大学院卒
- 他に、非常勤講師として、菊尾 栄先生(国語) 桜井範男先生(保 健) 末吉和子先生(音楽) 宮井康 江先生(美術) 小西立子先生(書 道) 花木宗嗣先生(英語) 大岡ひろ 子先生(家庭) が着任されました。
- なお、技能員さんには府立八尾 東高校の相正義博さんが着任され ました。

一、本年度卒業生の進路

卒業生総数 265名
進学者数 118名
就職者数 139名
その他 8名

現在集計中ですが、会報の発行に間に合わすため概数で示しました。

一、在校生について

本年度は、三年生6学級、二年生12学級、一年生12学級で生徒総数一四〇五名になりました。

昨年春にはじめて入学した男子生徒の中にはヤンチャ坊主も混っていて、二期頃には大丈夫かなと少々心配もしましたが、二年生になり清友高校生としての自覚もできてきたのか落着いて参りました。一年生の入試では、男子の志願者が23名不足で定員割れ、女子の志願者は逆に86名のオーバーとなり、もと女子高らしい結果が出ましたが、生徒の質としては昨年より男女共にレベルアップして参りました。

一、その他の消息

☆事務室の荒木主事が四月一日付で主査に昇任されました。
☆事務室の田中主事宅、塩野主事宅にどちらも長男、三上先生に長女が誕生されました。

「お知らせ」 現在の新築校舎は機械整備のため、夜間と土曜日の午後は無人になりますので学校への連絡は避けて下さい。

就任ご挨拶

教頭 前川 如矢

大阪府立清友高等学校、昭和54年度に府へ移管、本年度は第3学年6クラス(女)、第1、2学年各12クラス(男女)、更に56年度は全学年で36クラス(男・女)と、現代の大規模な府立高校への転身が予想されていますが、その前身を辿れば、約40年前の戦時中に戻ると理解しています。昭和16年からの、府立清水谷高校の同窓会が関与された子女教育の学校としての清友学園の15年半の歴史、31年に八尾市立清友高等学校(女子校)となってから昨年3月までの、八尾市唯一の市立高校としての22年有余の歴史、その間、初代の生田校長先生から現小西校長先生まで四代に亘って、学識豊かな名校長を戴き、歴代教職員のご尽力と生徒達の努力で形成された校風、伝統は、教育の場にふさわしく良識があり、落着いた、ゆるぎないものであると信じています。

教育は功を急いではならない、はやまれは失敗する。その効果の程は後年になってわかるものと昔の教育ではされてきました。現代は文明、利器の時代で、まるで教育に即効性がなければ駄目だ、と言わんばかりの考え方もかなりあるようです。現在教育を受ける生徒達は、今世紀から21世紀にかけて生きるものであり、先の時代を

達観した、現代に適した教育を受けねばならないでしょうが、教育として大事な知識、しつけ、技術は、やはり、短時日では身につける事ができないものです。小西校長先生も、「学問に王道なし」。学習は着実な努力、と強調されておられます。先生も、生徒も、先に目を向けながら、忍耐強く努力してゆかねばならないと思っております。

学識あり、本校でのご経験豊かであられた前教頭安田先生の後任者として、私、非才ではありますが、府立高校での経験を生かして鋭意、本校生の教育にあたる所存でございますので、卒業生諸姉皆様方のご理解、ご協力をお願い致したく存じます。

- 略歴
- 昭23 広島高商卒
- 英語教員
- 昭23 府立高津高校
- 昭23 茨木高校
- 昭23 三国丘高校
- 昭23 質津高校教頭
- 昭52 府立八尾東高校
- 昭55 清友高校

芥川高校(高槻市)への転勤が決まり、13年間なれ親しんできた八尾の地を離れることになりました。長い年月をそれ程に感じることもなくすぐせましたのは、私のあるがままを受け入れて下さり、共に歩んで下さったみなさま方や先生方のおかげと有難く思っています。

府立移管では当初からみなさまとともに運動してきた一人として、本館の完成を大変嬉しく存じます。今では新しく植えられた木々も充分根つき、新芽も大きくふくらみ、元氣よく若葉を広げようとしています。まさに、清友高校の前途を見るようで、嬉しい限りです。これからの清友の飛躍を肌で感じる事ができないのは非常に残念ですが、清友での貴重な体験は、これからの私の仕事の上で大いに生かしていきたいと思えます。高槻市からもはるかかなたに生駒山がのぞめます。峰々を少し右へたどれば確か高安山、そのふもとに清友高校が位置します。私もみなさまと同じように何かにつけ清友を思い出し、はげみにしたりなぐさめにもすることでしょう。

占春会のみなさま、お変わりございませんか。私はこのたび、府立

遠藤 光子
清友高校のより一層の発展を願ってごあいさつにかえたいと思います。

和田 淳
卒業生の皆様、お元気ですか。

このたび十三年間お世話になった清友を去り、八尾東高校に転動することになりました。十三年……もというのが実感です。ずいぶんこの間にはいろいろつきぬ思い出が一杯です。

四十二年の四月十三日、この日は私にとって生涯忘れることのできない日です。まだ学生服の方がよく似合う私でしたが、初めて教壇に立った日です。その日は大学時代の生活を話しました。また若い頃はじっとできずクラブなどで生徒とともに汗を流しました。「勝つ」とは何かなど熱っぽく生徒に語り、ときにはクラブ員などに総すかんをくらうことなどもありました。この間に三度の卒業生を送りました。どれも良き思い出であります。行事をとおして「仲間とは何か」「高校生活とは何か」などと生徒とやりとりしながら教師も生徒ともに学びあっていきました。これも清友であったからこそできたことだともいいます。

一本の木にたとえるなら、弱々しい苗木かとかく一人前の木になりえたのも清友という環境の中で育ったお陰だともいいます。深く感謝しております。

清友で学びえたものを八尾東で頑張りたいたいとおもいます。ぜひ立ちよってください。

では卒業生のみなさんの御健康と御活躍を心からお祈りします。



その後 西沢 小枝

占春会の皆様、お健やかに過ごしのことと存じます。また春が巡ってきました。あの当時は皆様から暖かいお励ましを頂き有難うございました。私はそれをささえに日を過ぎて参りました。

府立としての新しい歩みを始めた清友の、確かな成長を陰ながら喜びつつ、清友を離れた私の心には、ぽっかり大きな穴があきました。それは、もう清友の新しい歴史作りに参加できなくなった寂しさです。もう一つは、これからの日々の営みが、世の中と何のかかわりも持たなくなったという嘆きです。「教える」ということを通して、ささやかながら日々の営みが、何かのお役に立っているという喜びがなくなりました。この二つの寂しさを何とかのり越えなくてはと、出来ることから始めました。

まず、私の古典源氏物語をもっと詳しく読みなおすこと、玉上琢弥先生の「源氏物語評釈」によって一巻から読み出し、今やっとな磨の巻にたどりつきました。又朝

日カルチャーセンターで、清水好子先生の源氏の講義があるのを知り、月に一回聞きに行くことにしました。その頃、高安に住む卒業生の方が自分たちのグループで源氏を読みたいとのことなので、六月から月に一回、そのお手伝いをするようになりました。源氏の勉強のお手伝いに高安へ行く。私にとってこんなうれしい仕事はありません。毎月楽しみながら、この三月で九回目になり、葵の巻を読む予定です。次に以前からやりたいたと思いつつ、忙しくて出来なかつた手習いを始めました。故田中

塊堂先生のお弟子の片岡紫江先生について、北御堂でおいこしています。只今、漢字は白楽天の詩を、かなは西行の歌を書いていきます。六十の手習い、中々手は上りませんが、若い頃にかえった気で、何も忘れて練習しています。それからもう一つやりたいことがあります。これはちょっと気が悪いのでナイショ……：テキストを買ってきて、テレビで勉強して作ります。先日「成人病を防ぐ食事」をきいて姉と二人で作

おいしく頂きました。こんなわけで次第に家居の生活にも慣れ、ぽっかりあいた寂しさの穴は段々うずまってきました。そして、この平安な日々を送ることの出来る有難さを感じていきます。一日一日を大切に過ごしたいと念じています。では皆様お健やかに、日々御精進のほど祈り上げます。

折々の歌くづ
教ふるは自らを責むる営みと思ひはげみて日々つとめぬし
小さなわが営みも世の中とかかはりあふと心足らひし
つとめやめ日々の営み誰が為に尽くすとやいはむ誰が為にこそ
手習ひを日課と今日もかすかなる筆の音きき文字書きつづく
残る日のいのち燃やしてわが古典源氏万葉読みつぎゆかむ
(五五、三、五記す)

安田先生の転勤を聞いて
百花咲き競う四月、清友も府立校として二度目の春を迎えました。男子生徒を加え、カラフル？になりつつあるわけです。

今後の発展を占春会の一員として大いにのぞむ所です。

ところが安田教頭先生が、ご転勤なさるといふ、思いがけない事実が驚きました。府立移管運動に参加し、清友の名を残すべく、共に苦勞し、やっとな実現したという

の……
安田先生との出逢いは、占春会の役を引受けた時からですが、それ以前から、えにしの糸で繋ぎつておりました。先生が奈良県へ転宅される前、近くの町内に居られ、坊やが私の園を卒業され、又当時先生の居られた中学を弟が卒業、妹が清友で又々お世話になったのです。その妹が「やっさん」と心易く呼んでいたもので、ついつい私も親しく呼ばせて頂いておりました。ごめんなさいね！

先生は「やっさん」の呼名にふさわしく？やさしく大らかで、兄貴の様に抱擁力もあり、魅力的でもありました。反面、清友の名が残らねば腹を切る覚悟だったよ、とあとでおききし、さすが、ものふと感じ入ったわけです。私が卒業してから清友に入られたので、授業は受けていませんが、生徒として先生に出逢いたかったと、残念にももっています。

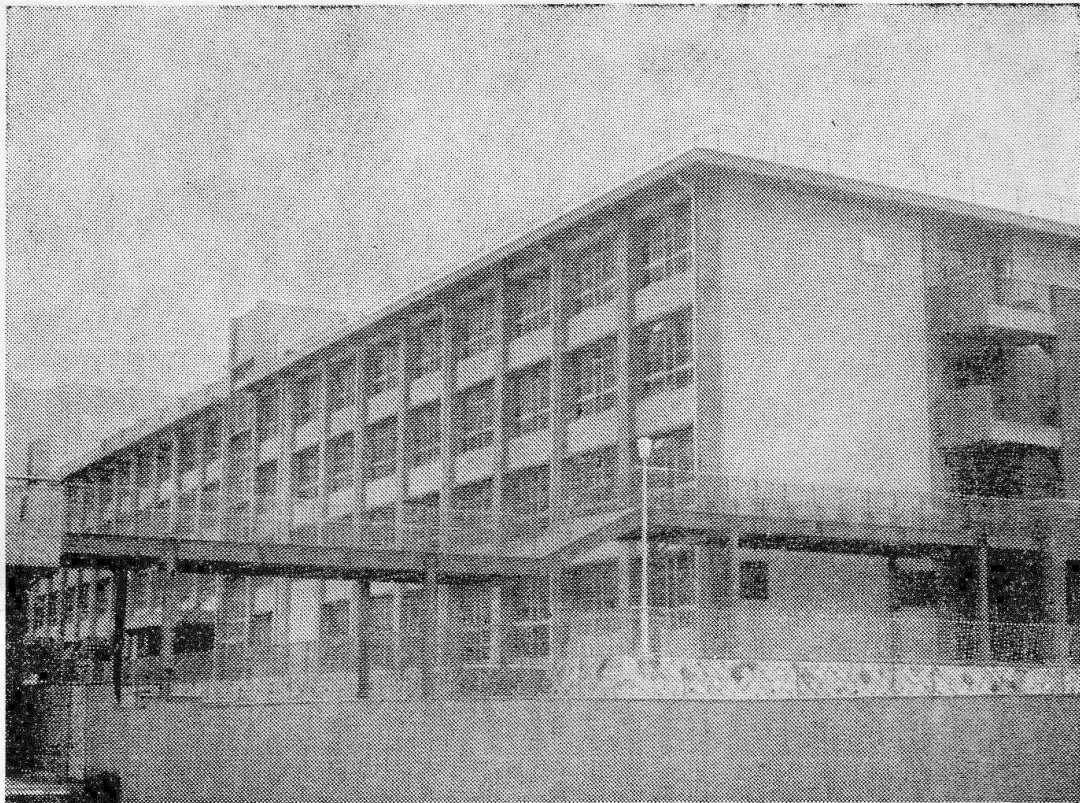
その先生とも清友でお逢いできないのは、実に淋しいです。でも同じ大阪の空の下、それも近くの八尾高校なら、お逢いする機会もあろうかと期待しています。

お体に気をつけて、ピッカピッカの理解ある先生になって下さいね。

では、やっさんお元気で、さようなら

占春会副会長 中易 敬子

逐次完成されていく新校舎



新校舎を見学して

昨年、私達は母校移転に伴い、新校舎が完成し、見学会に出席致しました。夏の厳しい日差しを避けて、校庭を歩いておりました、清友学園時代が、目の前に走馬灯の様に、思い出されました。戦争中の事とは言え、制服もモンペ姿で、主食の米とて配給制で少量しかなく、勿論調味料に致るまで、何一つ満足に無かった頃、母の丹精の弁当を持ち、教科書や、学用品もなく、そして校庭には、芋畑を作っており、女学生が芋掘りを楽しんだ頃。今の青春と言う言葉は、見た事も、聞いた事もなかった時代でした。

梅と水とに かたどれる
我が学園の校章を
胸に大気を 吸いこみて

20年振りに

訪れた

清友高校

三十四年卒 相生 武子

(旧姓布施)

二十年振りに訪れた清友高校の正門に立ち、淋しい様な、うれしい様な複雑な気持ちになり、少し感傷的になりました。

府立高校移管と新校舎移転の為です。

在校生やPTAの方々、又卒業生達には誇らしい事なのですが、何故か私にはなじめない感じで、占春会の総会に出席致しました。

なつかしい先生方にお会いして、過ぎし日々の追憶をしのびながら新校舎を案内していただき、運動部の後輩達が元気に動き回っている様子を見て、二十年前の自分達の姿を想い浮べ乍ら有意義な一日を過ごさせていただきました。

清友高校の伝統ある歴史を、この良き干塚の地に末永く羽ばたいていく事をお祈り申し上げます。つたない文章ではありませんが、清友高校の発展を心からお喜び申し、ペンを置きます。

今、目の前には、真っ白な、堂々とした校舎が、又昔の芋畑ならぬ校庭が、広々としています。

そしてクラブ活動に汗を流す生徒達に、思わず目頭が熱くなりました。と言うのは、戦争中の陰悪の中で、学ばねばならなかった私達の願いであり、又夢であった事が今、三十有余年を経て運動場に立った私の目の前に、実現しているからです。当時、清水谷女学校の姉妹校として、騒音を離れた静かな、田園の中に創立されたとは言え、国をあげての軍事教育下、そして終戦、戦後の混乱期だった。でも生田校長先生を初め、諸

先生のもと、質素な中にも優しい心、豊かな気品、清く美しい校風に、はぐくまれて、私達は生涯の基となる個性を身につけ、学生生活を楽しみ、又苦しかった事も、なつかしい思い出となっています。

梅と水とに かたどれる
我が学園の校章を
胸に大気を 吸いこみて

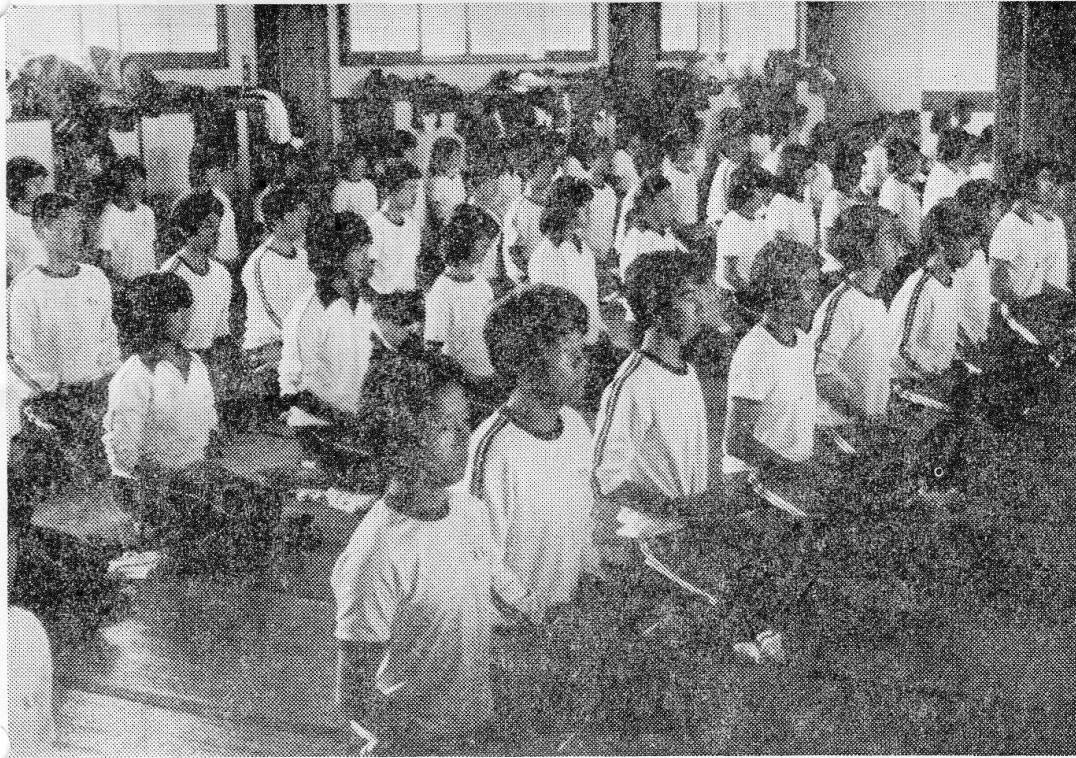
最後に、今回新校舎完成に伴い見学会を催されるにあたり、関係者方々の並々な御尽力に、感謝致しますと共に、今後とも、占春会の親睦を深め、学校ともども発展前進いたします事を御祈りして止みません。

三期生 馬谷節子(杉本)

活躍する
男子生徒!!

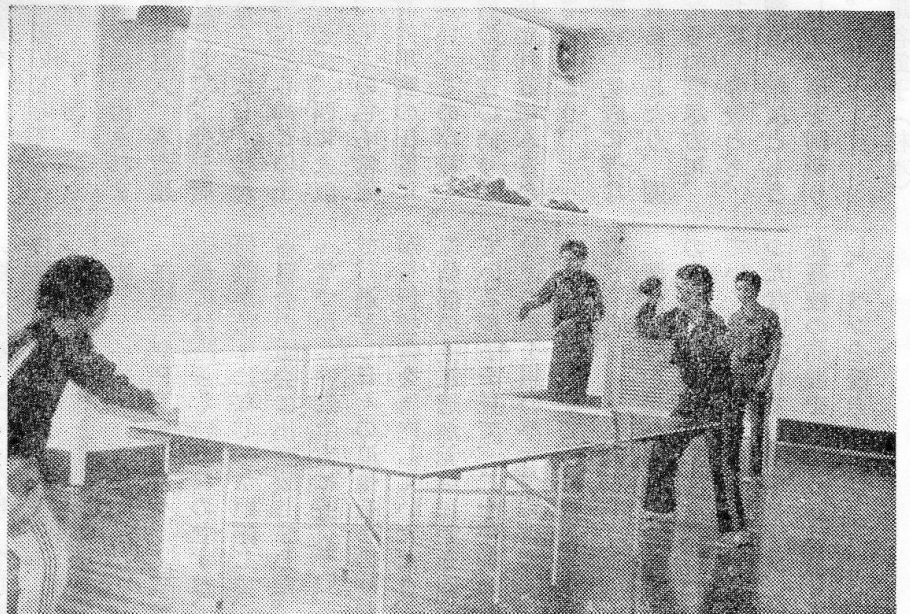


(バレー部)



夏合宿風景

座禅を組む男女生徒



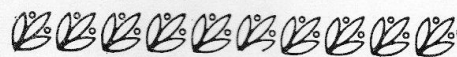
卓球部(体育館に於て)

混声合唱風景

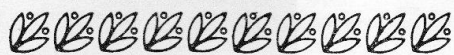
今までにみられなかった

大いに期待しています

ことでしょう



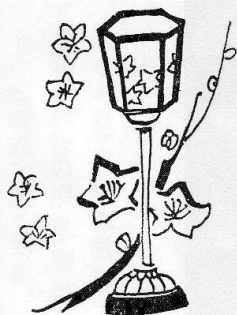
クダヤラ



学園六期生二十七年卒
日時 五十四年八月二十一日
場所 上本町なにわ会館
出席者 西沢先生、斉藤先生以下
十六名

私達毎年一度、西沢先生、斉藤先生をお招きして同窓会を開いております。久し振りにお会いし、西沢先生御持参の記念誌「はばたく清友」を囲み、懐しい思い出話等に花が咲きました。尚、創立以来色々とお世話下さいました西沢先生へ心ばかりの記念品をお贈りしました。大層お喜びになり、一同しあわせなひとときでした。

幹事 杉山(宮田)
鮎谷(安村)



三十年卒業生 幹事 有川
日時 五十四年五月
場所 近鉄山本岩田屋
出席者西沢先生以下二〇名
卒業以来毎年同窓会は必ず開きましようとする約束しながら忙がしさにとりまぎれていつい久し振になり、話はずみほんとうに楽しいひとときを過ごしました。記念品として小さい小さい七宝焼のつぼと盆栽をさし上げました。とても喜んでいただき、私も気をもんで気を使った事など一ぺんにふっ飛びました。
又お逢いするのを楽しみに元氣にお暮しになる事をお約束してお別れ致しました。



三十五年A組同窓会
西沢先生長い間ご苦労さまでございました。退職をお祝いして、十二月二日、久しぶりの同窓会を開きました。

師走のせいか出席者九名といった小人数ではありましたが、卒業して二十年ぶり、なつかしい想い出話や卒業後の消息など話はずみ、時のたつのを忘れてしまいました。
先生も娘の話に、又孫の自慢話をやさしくほほえみながら聞いて

いるおばあちゃんの顔に変わって
いました。最後に記念品をお渡し
して先生のご健康と御活躍をお祈
りして解散しました。

幹事 北村 吉田

バドミントン部十周年

バドミントン部の発足十年を記念して、同窓会(OG会)が、開かれたのが二年前の三月でした。その時は、会食だけの親睦で終わったのですが、なつかしいコートでもう一度汗を流してみたいとの意見が多く出され、その年の七月には、それを実現することができました。

そして、今年の三月二日に、第三回の同窓会を行いました。参加者は二十名で、お子様連れで来られる方もあり、午前中は新校舎の体育館で汗を流し、午後からは会食をして、和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しい時間を過ごしました。

また、参加できなかった人からも、結婚や出産、その他の近況が寄せられています。

今回、残念ながら都合が悪くて参加できなかった方々からも、次回是非参加したいという希望が強く、今後は年一回のバドミントン部卒業生の恒例行事として、益々親睦を深めていきたいと考えています。

昭和五十二年卒業生

遠藤久美子

55年度

265名占春会員

として入会す

回期代表あいさつ

春の柔らかな陽ざしにつつまれて、今私たちは、新たなる人生への一歩を踏み出そうとしています。これから歩んでゆく人生は、このような穏やかな日ばかりではないでしょう。冬の北風や、夏の嵐の様な日にも幾度となく出会うでしょう。そんな時、私たちは清友高校で作った数々の思い出を支えとし、府立一期生・占春会員としての誇りを持って、前進して行きたいと思っています。

五十五年卒、回期代表

一組 片岡 正江
 二組 島谷 美枝子
 三組 大崎 和代
 四組 葛城 さとり
 五組 杉本 八栄子
 六組 楠野 君恵



卒業記念植樹(55年度卒)



55年卒(36期生)回期代表

組	氏名	住所	電話
1	片岡 正江	577 東大阪市友井5-4-26	06 - 725-1606
2	島谷 美枝子	577 東大阪市菱屋西4-5-21	06 - 724-8689
3	大崎 和代	581 八尾市東本町4-4-16	0729- 92-0591
4	葛城 さとり	581 八尾市高安町北5-229	0729- 99-3743
5	杉本 八栄子	577 東大阪市金岡1-7-22	06 - 721-8479
6	楠野 君恵	577 東大阪市近江堂1-4-10	06 - 723-8208

会報十号を手にして 母校へとペダルを踏む私

昨年の夏、会報十号をお届け頂き、一入の思いを抱きながら拝読しました。「大阪府立清友高等学校」の門標と共に巻頭の河合会長のおふれる思いを秘めたお言葉、校長先生の随想と読み進む内に、恩師西沢先生の御退職の事、記念品をとのお誘いに接し、これは何をおいてもと思いい、七月二十二日強い夏の日射しを受けて、久しくお逢いしていないお友達の顔をあれこれと思いつつ、千塚を目指して自転車のペダルを踏みました。

昔の思いが一度にどっと押し寄せました。教室へとうながされ、占春会の総会が始まり、会長、副会長から、こもごもお話をきき、一層感慨を深くしました。ただ母校とはいえ、何となく子供の進学希望校へ見学に来た親の様な気持ちも味わいました。あの柏村の里で川沿いの桜並木や、木造の校舎、小ぢんまりとした牧歌的な雰囲気を持つ私達の清友は、ここ千塚に所を変え、永遠にその名を留めました。

千塚は遠く大和朝廷からの遺跡が多く、由緒ある所です。市役所内で開かれた数々の遺跡の展示も時間がとれず観る事が出来なかったのをとでも残念に思っています。建設予定地として大看板が立てられたのを折にふれ、仰ぎ見ていた場所に未完成ながら見事な鉄筋三階建の校舎があり、近づくにつれその広いこと／＼本当に嬉しうございしました。真新しい体育館からは、後輩達の若々しい弾む声がかきこえ、堂々たる玄関が目の前に広がりました。久しく願ひ続けた府立移管とは、それが総て実現するという事は、成程この様に立派になるとい事なのかとただただ今

地名を冠する事を憤いとする府立高校の中で残していただいた校章校名。本当こ有難く安堵いたしました。これは私達占春会の一人一人が等しく味う無上の喜びです。どうぞ後輩の皆様、素晴らしい環境と整えられた設備の中で発刺とした若者になって下さる様に祈ります。その事が府立移管を目指して七年の間、たゆまぬ努力をお払い下さった諸先生、諸先輩に對する何よりのお礼になりますように。

終に、今日の喜びと安心をお与え下さった皆様方に深く感謝し、お礼申し上げます。

三期生 平尾満智子(小川)

占春会新役員名簿(54年度)

会 長	21年	河合 隼子 (村田)	577 東大阪市足代新町 2-48	781-1616 06-781-0597
副会長	23年	柳生 和子 (上田)	537 大阪市東成区東小橋北之町 3-2-26	06-972-1707
副会長	28年	中易 敬子	577 東大阪市大蓮東 2-13-5	06-721-5046
書 記	20年	松谷 照子 (本田)	546 大阪市東住吉区田辺西之町 6-1	06-622-3581
書 記	26年	中西 明子 (宮本)	560 豊中市原田中 1丁目 7-5	06-855-1594
書 記	53年	河合 祐子	577 東大阪市足代新町 2-48	06-781-0597
会 計	30年	有川 育子	581 八尾市山本町 3-1-11	0729-22-4573 06-783-3187(勤)
会 計	30年	前田 千恵	577 東大阪市菱屋西 1丁目 9-22	06-723-4878
理 事	20年	羽田 敦	565 吹田市山田西 4丁目 6-1 千里ガーデンハイ 421号	06-877-9357
理 事	21年	稲部 恭子	543 天王寺区玉造元町 3-15	06-761-0588

前・書記
寺島さん

ありがとう

この度、寺島悦子姉が、書記を止められました。ご主人がご病気で、ご自身もお身体の調子が悪いつとかで、長い間、占春会の書記の仕事を、松谷さん、中西さんと共に、責任を持って引き受けて下さっていただけに、非常に残念におもいます。どうぞお身体ご大切になさいますして、総会の時には、又お出かけ下さいますように。

本当に長い間有難うございました。紙面を借りまして、御礼申し上げますと共に、皆様にご報告申し上げます。



ママさん対談

出席者

21年卒	河合 隼子
48年卒	中井 礼子
48年卒	坂口 君枝

過日数先生との話で「先生の教え子だった人達で、お母さんになられた人も随分多いのじゃないですか」と申しましたら、「そりや、もう毎年、僕の聞いているだけでも随分的人数になりますよ」

「でもおもしろいのが、毎年会報発送の時期になると二人仲よく、会報を取りに来ては、お手伝いして下さった竹原さんと田中さん。結婚は一年違いだが、第一児出産はこれ又同年という事で、これは記事になると、早速出かけて、ママさん対談となった次第です。」

「しばらく、いつもお世話になりました」と、竹原さんは現在中井さん、田中さんは現在坂口さん、先づ中井さんのお子達のご紹介、長女麻紀子ちゃん53年6月1日出産、現在1歳と10ヶ月、次女睦子ちゃん、54年8月1日出産、現在8ヶ月。

坂口さんの御子達のご紹介
長男、潤君、53年2月10日出産、現在、1歳11ヶ月、お二人目はお腹の中、予定日は7月14日。
「始めての出産は、どうでしたか」

中井「私の場合、初産ですのにいきなり三分間おきの陣痛が起り、三時間後に生まれました。ただ出血が多量だった精か、産後頭痛がひどく、又珍しい血種が出来てその痛みで情けない状態でした。この血種は体質によるものだと聞きました。やはり二人目の時もなかりかけました」。

「でも陣痛から、分娩までの時間が随分短かったのですね」
中井「はい。それは本当に短く安産の部類に入るとしようね」

坂口「私も、あなたの場合はいかしたらと思うと同時に、とてもつわりがひどく、丁度その頃、会報を取りに会長さんのお宅まで出掛けました。一駅毎に降りては、トイレに駆け込み、しながらよせていただいたものでした。」

「まあ、あなたそんな事少しもおっしゃらなかつたし、全然知りませんでしたわ、お辛らかったのですね。でもそんな状態の時ですのによくお手伝い下さってありがとうございます。で、お産の方は？」

坂口「7ヶ月で早産しかけました。どうやら持ちまして、予定日より20日早く陣痛が始まり、病院へかけつけましたらすぐ、分娩室に入れられ、20分位で生まれました。」

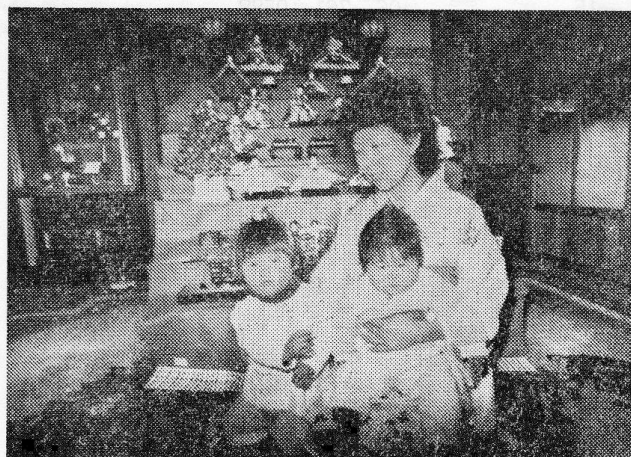
「まあ、つわりがひどいと難産だといいますが、案ずるより生むが易し、とはこの事ですね」
坂口「今から思えば、母が妊娠すればよく動かないと駄目といわれ結局それがよかったのだと思います。最近妊娠体操とかを皆さんよくなさってますが、必要な事だと思えます」。

「長時間の陣痛で苦しかったでしょう。赤ちゃんも苦しかったでしょうね」
中井「とし児で女の子が生まれましたが、おじいちゃん、おばあちゃんがとてもよく面倒をみて下さるので、非常に助かります」

「ご両親と一緒だとこんな時に有難たいと思うでしょ」
中井「主人も子煩悩で、朝お仕事に出掛ける前は、必ず子供の顔をのぞいて、出掛けて行くのですよ」

「育児について困られたことは？」
坂口「私は、産後、潤の黄疸がひどく二週間病院に預ってもらいました。出来るだけ母乳をと思いい、一生懸命、手でしぼっては、母乳びんにいれて飲みました。(何故なら病院にいる間、すっかり母乳びんに慣れて、母親の乳房には吸いついてくれなかったのですって)幸い胃腸も丈夫なので、四カ月から離乳食に入りました。そのお陰で六カ月では10キロの体重になりました。私なんかは他に仕事がないから、子供に十分な事

「ところで、中井さんお二人目の睦子ちゃんの時はどうでした」
中井「最初の麻紀子の時は予定日より5日遅れましたが、次女の睦子の時は、予定日より15日も遅れ、丁度夏祭時でした。陣痛が始まり最初の例もありますので、早く生まれると思っていました。意外に長引き、あくる朝9時頃に出生産しました」。



中井さん親子

い方達の為に話しておきました。上の娘祐子の時は、八カ月で妊娠腎になり、ひどい蛋白の降りようで、絶体塩分を取らないようにと注意されました。さて予定日より一週間遅れて、先づ破水から始まり、陣痛微弱と悪い条件ばかり何しろ29歳で始めてのお産ですよ。結婚して四年目に生れる子供ですがなかなか生まれ出てこないのです。随分長い時間苦しみました。たが産道で窒息させてはいけないと、急拠手術室に運ばれて、帝王切開で生まれました。産後も、産褥熱でうなされるやら、20日余り入院していました。難産の部類です。ね、それから、二年半目に下の息子を産する事になりました。帝王切開で産した場合は、満3年以上は開けないと普通分娩は無理で、危険でもあるという事で、予定日より10日前に入院しました。前日から絶食し、すっかり体調を整えて、手術を受けました。これで二回切腹したわけですが、女の子、次が男の子とうまい事生みわけましたね、先づはお家安泰という事になりました。

中井、坂口「ほほほ……会長さんたら」



坂口さん親子

「で息子の時の出産後の笑い話、術後、五日目まだ抜糸もしていないのに、お腹をおさえて、婦長さんに見つからぬようにトイレへ行ったものでした。私の執刀した主治医はともスバルタ式で、産後は早く床上げをした方が、子宮の収縮を早めるのですよ。ただし、婦長はうるさいから、見つからんように便所に行って下さいよ。ってわけで、お陰で順調よく、元気に二週間で退院しました」

中井、坂口「お子様達はお元気でしたか」

「帝王切開で生まれた子は、最初から頭が丸いのですね、二人共とても元気で、幼稚園、小学校、中学校と皆勤ですわ、今は皆勤賞なんてもらえないですね、私も切腹する度に少しづつ太り出し、私の女学生時代を知っている人は、あのゴンボ（黒くて細い午夢）の様な村田さんがって驚かれます。上の娘が二十歳、息子が十八歳、そろそろ親はなれしだしましてね、幼なかつた子供の頃が懐かしく思います。女って、いくら安産だとはいっても、痛い目をして、苦しんで出産するのですが、産んでしまおうと辛さを忘れられるのですよ。今日はいろいろとどうも有難うございました。坂口さんもお大事に、ご安産をお祈り致します。中井さんは、ご両親に甘えて、精々面倒をみておもらいなさい。孫の面倒をみるのはご両親の生き甲斐なので、私も近い将来にはそうなりたいと思います。最後にお忙しくても占春会の仕事を手伝って下さって有難う。ご理解下さるご主人様方にも、くれぐれもおよろしくお伝え下さい。」

私の好きな子守歌、いつの日か、娘や息子達も、うつつにきいたこの歌を、子供達に歌ってくれるでしょう。

中国地方の子守歌

一、ねんねこしゃっしやりませ

ねた子の、可愛いさ

起きて泣く子の、ねんころろ

つら憎さ、ねんころろ。ねんころろ

二、ねんねこしゃっしやりませ

あすは二十五日さ

あすはこの子の、ねんころろ

安詣り、ねんころろ。ねんころろ

三、宮へ詣ったとき

なんというて、おがむさ

、生この子の、ねんころろ

まめなように、ねんころろ。ねんころろ

昭和22年、NHK第一回、素人放送音楽会、歌曲部門で歌ったので（素人のど自慢の前身）以後素人のど自慢によくこの歌が出てくるでしょ。

ホントのホントの話



53年C卒の岸田美智子さんが、二十才になられたばかりの若さで故人とられました。ここに謹しんでご冥福をお祈りいたします。

さよならも

告げずに

53年C卒 斉藤和美
彼女は私の友人でした。短大も学部も同じで毎日いっしょに講義を受けていたのです。

一月になって急に体調が悪くなり、休学するということになったのです。けれど二月四日のテールマナーには出席できるから、いつもの明るい声で私に電話をしてきました。思えばそれが最後に聞いた彼女の声だったのです。その後、家族の人から入院したとききました。その時何故か涙が止まらなかつたのです。自分でも驚くほどでしたが、すでに私の何が不幸を予期していたのかもしれません。

テールマナーの日、彼女の出席はあきらめていましたが、逢える日のことばかり考えていました。しかし、彼女の時間はあまりにも残酷に刻んでいたのです。も

しこの世に本当に神様が存在し彼女を導びいたとしたら、私はこの神を一生恨むでしょう。

二月四日午前八時。彼女は故人となつてしまいました。想像もつかないような悲しみが待っていたのです。やさしかった私の友人は原因不明の病魔に連れていかれ、私共、友人達にさようならも告げずに人生のピリオドを打ってしまったのです。

三月十七日、短大の卒業式があつて、もうじき私の手元に卒業アルバムが届きます。ページをめくると、彼女が私のとなりで笑つてポーズをとっている写真があるんですよ。

新教頭先生への期待

母校清友で多くの卒業生を送られ、教頭としてご苦労をかけた安田先生が去られる事は、悲しいけれど、ご丁寧な就任ご挨拶の原稿をいただき、名門校で教鞭をとってこられた、新教頭の前川如矢先生をお迎えして、卒業生一同は、先生への期待で一杯です。

前身が女子校であるという、カラーを薄めて行こうと、今回の会報も男子生徒の活躍ぶりを、写真で紹介してみたり苦労しています。しかし清友には他校にはみられない良さも沢山あると思います。校章の厳寒にも堪えて咲く梅の花と、清き流れの水の心を心としてご活躍下さる事をお願いします。

はばたく清友

母校清友の38年のあゆみを1冊の記念誌として先生方の努力で作成されました。

新聞でも珍しい記事として掲載されましたので話題を呼んでいます。はばたく清友、の記念誌申し込んで取りに来ない方が数冊だけ残っております。ご入用の方は下記住所まで、至急金額をそえて申込んで下さい。部数が僅かばかりしかありませんので、足りない場合はご容赦下さい。電話申し込みはお断りします。

〒577 東大阪市足代新町2丁目48番地

河合 聿子

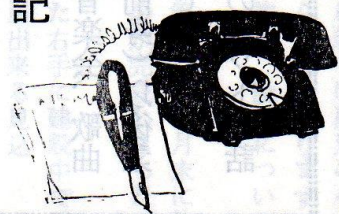
TEL (06) 781局 0597・1616

1冊 ￥1,000円
送料 ￥300円

会報を発送してホッとする間もなく、ドサリドサリと出した郵便が戻ってきます。会員の皆様方、住所変更、ご結婚等で姓の変られた方、必ずP.9 役員名簿一覧表中書記の松谷照子、それぞれ卒業年度の回期代表宛ご一報下さい。会報が皆様の手に行き渡ります様に……協力して下さい。

編集後記

☆安田教頭先生の転勤のご報告をききましたのが、四月に入ってからで、先生が書かれた学校だよりが卒業生に送られる最後の原稿となりました。来年は恩師のたよりで一番先に安田先生の原稿をいただかなければと思っております。先生どうぞお元気で。たまには同窓会にも出席して下さい。



☆不通だった40年卒の回期代表に原田先生の奥様の原田ゆり子さんが協力下さいました。後三人程、どなたか手伝ってあげて下さい。41年卒の方も次々名乗りでて協力者が増えましたが、A.B.Eの方どなたか手伝って上げて下さい。
☆その他の学年で回期代表以外の方、お手伝い下さる方は書記の松谷照子までお電話下さい。
☆来年は卒業生の近況を一页分も上げる予定です。どんな事でも結構です。新築、転宅、開店、子供の出産、旦那のおのりけ、各クラブのOG会、その他不用になった品物の交換等々で、卒業生がますます交流を盛んにする為の頁です。大いに利用しませんか。原稿は副会長の中易敬子まで。住所は役員名簿P.9にあり、ます。